

県の取り組み

新エネルギーの導入目標

県では、平成16年3月に策定した「地球と握手! うつくしま新エネルギー」に基づき、新エネルギーの導入促進を図るとともに、2010年度(平成22年度)の県内新エネルギーの導入目標を3.4%に設定しました。これは、県内の一般家庭が1年間に使用する電気の約6割分となります。2004年度(平成16年度)実績は、2.6%程度と推計され、順調な導入状況です。

2010年度導入目標

3.4%

約6割分となります。2004年度(平成16年度)実績は、2.6%程度と推計され、順調な導入状況です。



福島県知事 佐藤 栄佐久

新エネルギーで自然と共生を

経済性や効率性のみを重視した20世紀型の社会システムは、地球温暖化、資源の枯渇などの問題を引き起こしたと言われています。

21世紀は「環境の世紀」とも呼ばれており「環境を守るこ

●平成17年度の主な新エネルギー推進施策

新エネ導入によるまちづくり支援事業	市町村が主体的に、地域の特性に応じて実施する新エネルギー導入によるまちづくり事業を支援	
地域新エネ導入・普及促進スケールアップ事業	率先導入	新エネルギーの県有施設などの率先導入、新エネ導入推進連絡会などの開催による産学民官の連携強化など
	普及啓発	普及PRイベントの開催、新エネリーダーの育成など
	導入支援	モデル市町村の住宅用太陽光発電システムの導入補助
地域活性化共同研究事業(新エネルギー発電システムの開発)	新しい原理の風力発電機の開発を行い、わずかな風力でも発電できる技術を開発	
木質バイオマスエネルギー利用促進事業	木材の加工過程などで発生するバイオマスを有効活用するために、公共施設などへの木質資源利用ボイラーの導入を支援	
県有施設環境対策事業	県有施設へ、新エネルギーシステムなどの環境負荷低減技術を導入するため、環境配慮型施設の計画・設計指針を作成	

省エネも大事です

新エネルギーの導入も大切ですが、最も大事なことは、エネルギーを無駄に使わないことです。毎日の暮らしの中で、ちょっとした心がけで無駄づかいをなくすことができます。省エネルギーの取り組みが、地球温暖化防止に役立つのです。

※地球温暖化防止については、P13のお知らせもぜひご覧ください。



とは未来世代からの信託である」という考え方に立って、人と自然とが共生する新しい社会システムを構築していく必要があります。

新エネルギーは、太陽光、風力、バイオマス、雪氷冷熱など、地

域に身近に存在する資源を電気や熱などとして有効活用する、人と自然との共生にとって重要なエネルギーです。

県では、平成16年3月に策定した「新エネルギー」に基づき、導入を積極的に進めており、今年度は、新エネルギー導入によるまちづくりへの支援も行います。

県民や事業者の皆さんも一緒に取り組みを進めていきましょう。

問 県庁地域政策グループ ☎024(521)7119 HP <http://www.pref.fukushima.jp/chiiki-shin/>

子供向け資料もあります



「さくらんぼ」は、バラ科に属し、アントシアニンやフラボノイドなどの抗酸化成分を豊富に含んでいます。中でも、味・人気ともに抜群の品種が「佐藤錦」です。県内では県北地方や須賀川市が主な産地ですが、最近では会津地方でも栽培されています。

「さくらんぼ」

果樹編



いいもの 発見
うつくしま



ます。6月上旬から食べごろとなります。

美味しいものの見分け方は色鮮やかで光沢があり、軸がしっかりしているものを選ぶことです。冷蔵しないで、すぐに食べるのがよいでしょう。

【豆知識】

「オウトウ」「さくらんぼ」「チェリー」の違いは?

「オウトウ」は学術用語として木そのもの、「さくらんぼ」は果実、「チェリー」は加工品や輸入品などを指して使い分けされることが多いようです。